

東京都冬季水泳競技会 追加要項

期 日	事 項	開門時間 (コーチ・スタッフ)	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
2月8日(土)	1日目	7:15	9:00	12:33	13:30	17:25	競技終了後 30分
2月9日(日)	2日目	7:15	9:00	12:50	13:30	18:10	競技終了後 30分

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2024年度（公財）日本水泳連盟水泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・タイム決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。なお、予選・タイム決勝とも年齢区分に関係なく予選を行うため、各年齢区分8名に満たない場合でも予選を行う。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名が出場となり、決勝進出した選手から棄権者が出た場合、次点上位より順次出場権を与える。また、決勝進出において、同記録で定員を超えた場合、抽選で優先順位を決定する。抽選は、予選競技のランキング表示後15分以内にリゾリューションデスクにて行う。
なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合は、抽選の権利を失う。
また、B決勝は決勝進出者を除く予選上位8名を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者がでても次点上位の順次出場権は与えないとする。
- (4) 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までに棄権届出用紙をリゾリューションデスクに提出するか、電子メールにて添付送信すること。指定時刻までに棄権届出用紙の提出がない場合は棄権料として1種目につき3,000円を徴収する。メール送信の場合の送信先：oc@tokyo-swim.org
- (5) 決勝およびB決勝の棄権はできない。やむなく棄権を希望する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリューションデスクに1種目につき5,000円の棄権料を添えて棄権届出用紙を提出すること。審判長が許可した場合に限り届出を受理する。
- (6) 招集は競技開始10分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所で水着の確認を行う。
※承認マーク剥がれが生じた場合は「マーク剥離による確認票」を招集時に持参すること。
- (7) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水すること。背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。
- (8) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用したい場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (9) 800m・1500m自由形における周回板通知は、水中ラップカウンターに表示し、コールは行わない。
- (10) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし、治療目的の場合は事前にテーピング許可願をリゾリューションデスクに提出し審判長の許可を得ること。

2. 表彰について

- (1) 本大会において種目別順位表彰は行わない。
- (2) 世界新記録、日本新記録、東京都新記録（いずれもタイ記録含む）を樹立した場合は、新記録証の授与式を行う。

3. AD カードについて

- (1) AD カードは各団体にてホームページよりダウンロードし、団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフには配布すること。(A4サイズでプリントし4分割する。モノクロでも可)
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止とする。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携帯すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。(折らずに収納できるサイズを使用すること)
- (8) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。

4. 入退場について

- (1) 大会両日とも、7時15分に開場しチームスタッフ(各団体1名)、選手の順で入場する。
(注意) 必要以上に早く来場しないこと。
- (2) 選手・コーチの入場は、2階東口とする。(別紙「会場図」を参照)ただし、競技開始9時以降は2階西口の利用も可能とする。
- (3) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

5. 控え場所について(別紙「会場図」を参照)

- (1) 控え場所は東側観覧席のみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) メインプール側更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。
- (4) サブプール側更衣室は使用できない。

6. プールの使用について ※状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと。

(1) メインプール

- ① 水深3m、水温28.0度に設定する。
- ② ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。
- ③ ウォーミングアップ時、A面9レーンをダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。利用人数によりレーンを増やす場合がある。
- ④ パドル・コード類・シュノーケルの使用は禁止する。
- ⑤ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑥ 練習中はホイッスルの使用を認める。

(2) ダイビングプール

- ① 水深5m、水温28.0度に設定する。
- ② ウォーミングアップおよびダウンプールとしての使用に限る。
- ③ 飛込競技用設備には触れないこと。また、突起物には十分注意すること。
- ④ 男女でレーンを分けているため、会場図等を参照すること。
- ⑤ パドル・コード類・シュノーケルの使用は禁止する。

7. 競技結果（速報）およびスタートリストについて

- （１）会場で競技結果の掲示は行わない。
- （２）競技結果はプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

東京水泳協会 HP ⇒ <https://tokyo-swim.org/>

8. その他

- （１）大会期間中に発生した事故・傷病および感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
については、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- （２）悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- （３）プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- （４）忘れ物は、リゾリレーションデスクにて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- （５）貴重品は各団体の責任において管理すること。
- （６）会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- （７）駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあるので控えること。
- （８）水泳場前や近隣での路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

9. 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 競技委員会

E-mail : kyougi@tokyo-swim.org